

3 | 先行調査

2012年1月までに入手できた物のみ。ホームページアクセス年月日は省略した。

①山形大学の調査

山形大学男女共同参画推進準備室，2009，『男女共同参画に係るアンケート調査集計結果の概要』，
<http://www.yamagata-u.ac.jp/kenkyu/danjo/old/d-file/20090225.pdf>.

山形大学男女共同参画推進室，2010，『平成21年度文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業「山形ワークライフバランス・イノベーション」第2部男女共同参画に係るアンケート結果報告書』，[http://www.yamagata-u.ac.jp/kenkyu/danjo/newsletter/pdf/pdf20100331/dai2buanke-to.pdf/y21report2\(full\).pdf](http://www.yamagata-u.ac.jp/kenkyu/danjo/newsletter/pdf/pdf20100331/dai2buanke-to.pdf/y21report2(full).pdf).

一，2011，『山形ワークライフバランス・イノベーション平成22年度報告書第2部平成22年度男女共同参画に係るアンケート結果報告書』，<http://www.yamagata-u.ac.jp/kenkyu/danjo/newsletter/pdf/pdf20110331/2/2full.pdf>.

坂無淳，2010，『山形大学教職員のワークライフバランス～「男女共同参画に係るアンケート」調査結果からみる実態と意識～』，<http://www.yamagata-u.ac.jp/kenkyu/danjo/pdf/sakanashi20100212.pdf>.

一，2011，『山形大学における取組から見えてきた成果と課題－アンケートの経年変化から－』，<http://www.yamagata-u.ac.jp/kenkyu/danjo/pdf/Chosa201111.pdf>.

②女性研究者研究活動支援事業(女性研究者支援モデル育成)の調査

秋田大学男女共同参画推進専門委員会，2010，『男女共同参画推進に関する意識調査報告書』，
<http://www.akita-u.ac.jp/coloconi/h21pdfimg/isiki.pdf>.

千葉大学両立支援企画室，2009，『千葉大学における両立支援ニーズ調査報告書』，http://www.gakuzyutsu.chiba-u.jp/common/pdf/invest_h20.pdf.

独立行政法人産業技術総合研究所，2006，「別紙 男女共同参画推進に関するアンケート調査結果」『産業技術総合研究所男女共同参画の推進策』:27-57，<http://unit.aist.go.jp/gender/ci/data/2005survey-summarized.pdf>.

独立行政法人森林総合研究所男女共同参画室，2009，『森林総合研究所における男女共同参画意識調査報告書』，独立行政法人森林総合研究所男女共同参画室.

一，2010，「Ⅱ 男女共同参画とエンカレッジモデルについての意識調査報告」独立行政法人森林総合研究所男女共同参画室編『「応援します！家族責任を持つ女性研究者」平成21年度事業報告書』，独立行政法人森林総合研究所，91-176.

岩手大学男女共同参画推進室，n.d.a，『岩手大学男女共同参画に係るアンケート（平成21年11月）～結果概要～』，http://www.iwate-u.ac.jp/gender/katsudou/file/res_200911.pdf.

一，n.d.b，『岩手大学男女共同参画に係るアンケート（平成22年12月）～結果概要～』，<http://>

www.iwate-u.ac.jp/gender/katsudou/file/res_2010.pdf.

金沢大学男女共同参画推進委員会，2008，『金沢大学男女共同参画に関する提言書－男女共同参画に関するアンケート調査の結果を踏まえて』，http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad_jinji/danjo/teigensyo.pdf.

慶應義塾大学ワークライフバランス研究センター，n.d.a，『慶應義塾大学教員のワークライフバランスと男女共同参画に関する調査』，http://www.wlb.keio.ac.jp/project/doc/H20research_WLB.pdf.

一，n.d.b，『Ⅱ 平成22年度「女性研究者支援モデル育成」プログラム及びワークライフバランス研究センターに関する調査』，http://www.wlb.keio.ac.jp/project/doc/H22research_WLB.pdf.

神戸大学男女共同参画推進室，2008，『神戸大学教職員の男女共同参画に関する意識調査報告書』，<http://www.office.kobe-u.ac.jp/opge-kyodo-sankaku/data/pdf/ishikityousa080627.pdf>.

国立大学法人熊本大学，2007，『「女性研究者支援モデル育成事業」に係る熊本大学男女共同参画意識調査』，<http://gender.kumamoto-u.ac.jp/data/report20070327.pdf>.

一，2009，『「女性研究者支援モデル育成事業」に係る熊本大学男女共同参画意識調査』，<http://gender.kumamoto-u.ac.jp/data/report20090323.pdf>.

国立大学法人東京農工大学女性キャリア支援・開発センター，2008，『事業紹介／平成19年度活動報告』，国立大学法人東京農工大学女性キャリア支援・開発センター。

一，2009，『事業紹介／平成20年度活動報告』，国立大学法人東京農工大学女性キャリア支援・開発センター。

京都大学男女共同参画企画推進委員会，n.d.，『「京都大学男女共同参画推進に関する意識・実態調査」報告書』，http://geco.adm.kyoto-u.ac.jp/activity/documents/chosa_zenbun.pdf.

九州大学高等研究機構女性研究者支援室，2008，『研究者養成のための支援ニーズ調査結果の概要』，http://sofre.kyushu-u.ac.jp/sofre_files/needs.pdf.

名古屋大学男女共同参画推進専門委員会・男女共同参画室，n.d.，「第4章2010年度男女共同参画推進に関する部局アンケート結果」『名古屋大学における男女共同参画報告書2010年度』，http://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/kyodo_sankaku_renew/houkoku2010/04/index.html.

日本大学研究委員会男女研究者共同参画専門部会 女性研究者支援推進ユニット，n.d.a，『日本大学における男女共同参画に関する意識調査（2008年度）』，http://www.nihon-u.ac.jp/research/careerway/files/file/2009_Websurveycolor.pdf.

一，n.d.b，『第2回男女共同参画に関する意識調査WEBアンケート集計結果』，http://www.nihon-u.ac.jp/research/careerway/files/file/2011_Websurveycolor.pdf.

一，2011，『「あなたにとって魅力ある大学とは何か～男女共同参画の視点から～」アンケート調査』，http://www.nihon-u.ac.jp/research/careerway/files/file/attractive_enquete.pdf.

日本女子大学女性研究者マルチキャリアパス支援プロジェクト推進室，2008，『日本女子大学家

- 政理学科・理学部卒業生にみる「マルチキャリアパスアンケート」結果報告書』, <http://mcm-www.jwu.ac.jp/~mcpweb/research/img/report.pdf>.
- 岡山大学ダイバーシティ推進本部男女共同参画室, 2010, 『岡山大学における女性研究者支援に関するニーズ調査』結果報告』, http://www.okayama-u.ac.jp/user/jinji/diversity/upload_files/pdf/needkextuka.pdf.
- 一, 2011, 『岡山大学の男女共同参画推進に関するアンケート調査結果』, <http://www.okayama-u.ac.jp/user/jinji/sannkakushitu/sankaku/survey/survey2.html>.
- 大阪大学男女共同参画に関する検討ワーキング(平成17年度), 2009, 『平成17年度「多様な人材活用推進のための実態調査」報告書』, 大阪大学女性研究者キャリア・デザインラボ.
- 大阪大学女性研究者キャリア・デザインラボ, 2010, 『自然科学系分野専攻の学生の意識に関するアンケート報告書』, <http://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/diversity/files/report0311.pdf>.
- 大阪大学多様な人材活用推進委員会・女性研究者キャリア・デザインラボ, 2010, 『平成21年度大阪大学の常勤教員の実態と意識に関するアンケートー大阪大学のワーク・ライフ・バランスをめざしてー調査結果報告書』, 大阪大学女性研究者キャリア・デザインラボ.
- 島根大学男女共同参画推進室, 2009, 『国立大学法人島根大学男女共同参画に関する意識調査アンケート集計結果』, <http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/gender/article/001/report.pdf>.
- 静岡大学男女共同参画戦略ワーキンググループ, 2008, 『静岡大学における男女共同参画に関する意識・実態調査結果報告書』, <http://www.shizuoka.ac.jp/sankaku/rinkpdf/kekkaoukoku200811.pdf>.
- 東北大学男女共同参画委員会, 2010, 『平成21年度男女共同参画委員会報告書』, <http://www.bureau.tohoku.ac.jp/danjyo/houkokusyo/H21.pdf>.
- 東京大学男女共同参画オフィス, 2010a, 『東京大学女性研究者白書』, 東京大学男女共同参画室.
- 一, 2010b, 『東京大学女性研究者アンケート調査結果報告書』, <http://kyodo-sankaku.u-tokyo.ac.jp/activities/model-program/whitepaper/documents/QuestionnaireforFemaleResearchers.pdf>.
- 東京大学大学院理学系研究科・理学部, 2009, 『理学系研究科男女共同参画アンケート集計結果』, http://www.s.u-tokyo.ac.jp/ja/overview/gender/enquete/H21_res.html.
- 東京医科歯科大学女性研究者支援室, n.d., 『研究室環境調査結果のご報告』, http://www.tmd.ac.jp/mri/ang/act/inquiry/20100315_00.pdf.
- 一, 2009, 『東京医科歯科大学保育に関する意識および現状調査報告』, <http://www.tmd.ac.jp/mri/ang/act/inquiry/091006byoujihoikuchousa.pdf>.
- 筑波大学男女共同参画推進室, n.d., 『男女共同参画アンケート調査結果報告ーダイジェスト版ー』, http://www.geo-wlb.tsukuba.ac.jp/suishin/pdf/enquete_200810.pdf.
- 一, 2010, 『男女共同参画のための施策に関するアンケート調査結果』, http://www.geo-wlb.tsukuba.ac.jp/suishin/pdf/enquete_web_200912.pdf.
- 早稲田大学男女共同参画推進室・女性研究者支援総合研究所, 2008, 『研究者養成のための男女

平等プランに関する調査 (5) 男女共同参画推進に関する意識・実態調査2008年度教職員調査報告書』, 早稲田大学男女共同参画推進室・女性研究者支援総合研究所.

③その他の調査・資料

- 男女共同参画学協会連絡会, 2008, 『科学技術系専門職における男女共同参画実態の大規模調査』, http://annex.jsap.or.jp/renrakukai/2007enquete/h19enquete_report_v2.pdf.
- 原ひろ子編, 1999, 『女性研究者のキャリア形成: 研究環境調査のジェンダー分析から』, 勁草書房.
- 原純輔・浅川達人, 2009, 『社会調査 改訂版』, 放送大学教育振興会.
- 加野芳正, 1988, 『アカデミック・ウーマン-女性学者の社会学』, 東信堂.
- 内閣府, 2009, 『男女共同参画社会に関する世論調査』(平成21年10月), 内閣府大臣官房政府広報室.
- 日本家族社会学会全国家族調査委員会, 2009, 「第3回全国家族調査(NFRJ08)調査票」, http://www.wdc-jp.com/jsfs/committee/contents/NFRJ08_questionnaire_jpn.htm.
- 登谷美穂子・坂東晶子, 1985, 「研究者の活動量とライフサイクル」『科学』4月号: 244-249, 岩波書店.
- Northern California Higher Education Recruitment Consortium (HERC), 2010, “Resource Center > Relocation Resources”, http://www.norcalherc.org/site/730/res_dualcareer.cfm?site_id=730.
- Schiebinger, Londa, Henderson, Andrea Davies and Gilmartin, Shannon K., 2008, *Dual-Career Academic Couples: What Universities Need to Know*, The Michelle R. Clayman Institute for Gender Research, Stanford University, http://test.clayman.gotpantheon.com/sites/default/files/DualCareerFinal_0.pdf.
- 塩田庄兵衛編, 1984, 『婦人研究者のライフサイクル調査研究V “アンケートによる実態調査”の分析』, 文部省科学研究費総合研究A(広領域)研究成果報告書, 立命館大学.
- 鈴木 富美子・西野 理子, 2010, 「離家と就業」日本家族社会学会 全国家族調査委員会『第3回家族についての全国調査(NFRJ08)第一次報告書』, 日本家族社会学会 全国家族調査委員会, 49-59.
- 田中重人・永井暁子編, 2011, 『家族と仕事』, 日本家族社会学会全国家族調査委員会.
- 米澤彰純・藤森宏明・白川優治, 2008, 「第2章大学教員のキャリア・ライフスタイルと大学立地」米澤彰純・佐藤香編『大学教員のキャリア・ライフスタイルと都市・地域—「大学教員の生活実態に関する調査」から—(高等教育研叢書96)』広島大学高等教育研究開発センター, 11-39.